

# 士別市ボランティアセンターだより ふれあい

● 発行 ●

士別市ボランティアセンター  
士別市東5条3丁目  
サポートセンターしべつ  
士別市社会福祉協議会内  
TEL 22-3012  
FAX 22-3019

## 「4市ボランティア研修交流会」

11月25日～26日の2日間にわたり、士別市・名寄市・網走市・紋別市ボランティアセンター合同の、「ボランティア研修交流会」を士別市で開催しました。

1日目は、2016年10月にオープンした士別市いきいき健康センターの施設見学と、「ふまねっと」、「サフォークジム」、「認知症予防教室」の3つのプログラムを体験しました。

菅井館長からセンターの概要について説明していただき、当初は高齢者の利用を中心に考えていたが、今では小さい子どもを連れてお母さんなど幅広い年代の利用者がいる等のお話がありました。

「ふまねっと」は、大きな網でできたマス目を歩いていく運動で、ふまねっとサポーターの皆さんの指導の下リズムに合わせて色々なステップに挑戦しました。

「サフォークジム」では、足・指を使ってのジャンケンやタオル引き、足でとなりの人にボールを渡すリレーなどを体験し、見ていると簡単にできそうでも、実際にやってみるとかなりハードでした。

「認知症予防教室」では、認知症についての講話と、認知症予防となる手の運動や映像での間違いさがしなどを楽しみながら体験しました。

夜は、羊飼いの家でジンギスカンを囲んでの交流会。5人1組でチームを組み、「お絵かきですよ」をやりましたが、これまた大盛り上がりでした。



2日目は、情報交換会を行いました。まず、各市のボランティアセンターの活動を紹介、各市で今年度新たに取り組んでいる事業もあり、興味深く参考になる内容がたくさんありました。

そして、本研修会は今年度で4年目を迎え、各4市を1巡りしたこととなるため、「こんなことやってみたい！提案会！」と題し、グループに分かれて、次年度からどんなことをやっていきたいか話し合いをし、「『ポッチャ』などのアダプテッド（障がい者）スポーツの大会（体験）を一緒にやったらどうか」などと、前向きな意見が出されました。

年に一度、各市のボランティアさんたちと出会える嬉しさを改めて感じ、また会うことを約束し本研修会を終えました。





## 【12月】

12月16日、塾生と先生、ボランティアセンター運営委員等13名が集まり、年賀はがきの代筆を行いました。

はじめに代筆ボランティアの目的を知ってもらうために「なぜ依頼があるのか？」と問いかけ、依頼者の気持ちを想像してもらい、「手や目が不自由で書くことが難しいのでは」などの意見が出されました。

次に書き方の説明。文字は読みやすく、大きさバランスにも注意しなければなりません。メンバーは文字を間違わないように真剣な眼差しで心を込めて書いていました。

緊張感のある作業の後は、ケーキと飲み物でリラックスし「3年生を送る会」を行いました。入学試験や就職、部活の話題も出て盛り上がりしました。

今までの活動をDVDにまとめた映像を楽しく見ながらお話タイム。映像の中の自分たちを見て「若かった」などの声も…。

最後に来年の活動の約束をし、活動を終わりました。



## 【1月】

1月27日、西児童センターで子どもたち15名と交流を行いました。塾生から、『バルーンアートで児童館の子どもたちと交流したい』との要望から、バルーンアート研究会の小林さん、相沢さん、佐々木さんに協力を得て開催。

子ども達にちゃんと教えられるように「犬」と「剣」の作り方を事前にレクチャー。初めて作る塾生もいたが、すぐに覚えて上手くできたと満足顔でした。

児童館の先生の「開会のあいさつ」の後、スタッフ全員が自己紹介を行い、そして本番。一つ一つ、丁寧に子どもたちの進み具合を確認しながら教え、子ども達は分からないところや難しいところは塾生やスタッフに聞きながら頑張っていました。

自分が作ったバルーンが完成すると、周りの友達と嬉しそうに見せ合っこ。塾生たちは子どもたちの中に入り、空気

の入れ方やバルーンのねじり方など優しく教え、たまにバルーンが大きな音で割れると、子どもと一緒に驚いていました。

参加した子ども達はみんな「楽しかった」と、口を揃えて話し、塾生たちも風船から色々なものができるのを見てバルーンアートの魅力が判ったようで、「また一緒にやれたらいいな」と話していました。

